

「9条に平和賞を」

県内3団体 署名運動開始

全国で広がる「憲法」を」の活動を後押しし
9条にノーベル平和賞 ようと、県労連など県



「憲法9条にノーベル平和賞を」の活動をPRする県労連の田口朝光委員長(左)ら(県庁記者室)

内の3団体が、県内で署名活動に乗り出すことになった。この運動は神奈川県の主婦がインターネットで呼び掛けて始まり、昨年8月に実行委員会が発足。今年4月にはノーベル平和賞の候補となった。既に18万人超の署名が寄せられているという。

今回署名活動に乗り出すのは、県労連のほか、県平和委員会、高知憲法会議。
この3団体は昨年、路面電車の車体に護憲を呼び掛ける広告を出したものの、今年は土佐電鉄に同様の広告を拒否された経緯がある。
県労連の田口朝光委員長によると、土佐電鉄の「憲法が政治問題化している」という姿勢に変化がないことから、広告を断念し、署名活動に力を入れることにしたという。
31日に県庁で記者会見した田口委員長は「集団的自衛権行使を容認する閣議決定が行われ、憲法が壊された。ノーベル賞の受賞で閣議決定を撤回させ、戦争をしない国に戻したい」と話した。

(真崎裕史)

今年4月にはノーベル平和賞の候補となった。既に18万人超の署名が寄せられているという。